

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 小中学校情報教育推進事業費
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	4	情報機器の効果的な活用
事務事業番号	001	事務事業コード 52214001 事業開始年度 平成 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	小中学校情報教育推進事業費
------	------	------------	---------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 児童生徒が授業や学校生活の中で、パソコンなどの情報機器に触れ、実体験を通じてITネットワーク社会に適応する能力の育成を行う。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 各学校への情報機器の整備、情報通信網の構築・管理、ネットワーク機器の保守などを行っている。 また、教職員の校務の省力化、授業資料の作成、情報の共有化などにも活用されている。 平成22年度のパソコン設置台数(児童・生徒用) ・小学校8校; 200台 ・中学校5校; 205台
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> ITネットワーク社会に対応できる能力を有する児童・生徒の育成。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	小学校パソコン台数	台	目標値	200	200	200	200	200
			実績値	200	/	/	/	/
	中学校パソコン台数	台	目標値	205	205	205	205	205
			実績値	205	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	36,949	21,047	17,899	17,899	17,899	53,697
合 計			36,949	21,047	17,899	17,899	17,899	53,697
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,733	1,779			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,733	1,779			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 家庭において情報機器を有しない子どもたちにとっては、情報機器に触れる貴重な機会である。また、ITネットワーク社会である現代において、子どもたちへの情報教育は欠くことのできない教育であることから、市が事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各学校において、パソコン等の情報機器を活用した取り組みが見られ、情報教育が浸透しつつある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 利用する学年の低年齢化など、情報機器を活用する時間を増やすことにより、能力の向上を目指すことができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ ウィルスソフトの一本化、一括購入など、コスト削減のための取組を進めているが、情報機器のリースに要する経費等は削減を見込める経費ではなく、現状において既に必要最低限の状態である。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	ITネットワーク社会に生きる子どもたちに、必要な資質を養う事業として重要である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）